

報道機関各位

熊本大学企画部企画課広報室

『こばと保育園における病児保育モデル事業』を開始します。

熊本大学では、平成18年度に申請しました「地域連携によるキャリアパス環境整備事業」が文部科学省の「女性研究者支援モデル事業」に採択され、同年度から女性研究者のための環境整備、意識改革、キャリアパス環境整備等を進めております。

今回、その一環として、ワーク・ライフ・バランスの観点から、本学とNPO法人との連携により、本学のこばと保育園（学内保育園）に通っている園児及びその保護者を対象として、県内の大学としては、初めての試みとして、病児保育モデル事業（以下「モデル事業」という。）（別紙を参照願います。）を開始することといたしました。

モデル事業は、園児が発熱等で通園できない場合に、その保護者に代わってNPO法人による専門家に看護してもらうことにより、保護者が休暇を取ることなく勤務を継続できるようサポートすることを目的としております。

つきましては、下記のとおり開始式を実施しますので、当日の取材方、よろしくお願いいたします。

「女性研究者支援モデル事業」（文部科学省）

大学や公的研究機関を対象として、女性研究者が研究と出産・育児等を両立し、研究活動を継続するための支援を行う仕組みを構築する際の模範となる優れた取組を支援するため、平成18年度より開始

「こばと保育園」

本学の教職員及び大学院学生が養育する乳幼児を対象とした学内保育施設

記

日 時 平成20年9月1日（月） 午前10時

場 所 こばと保育園 熊本市本荘1丁目1番1号（医学部附属病院敷地内）

お車で越しの報道機関の方には、開始式会場において駐車無料券をお配りいたしますので、お申し出ください。

出席者 熊本大学 森 光昭（理事）

緒方洋子（男女共同参画推進室コーディネーター）

NPO法人チャイルドケアサポートみるく

永野和子（副理事長・病児保育室室長）

保護者代表 柊中真也会長 ほか

～お問い合わせ～

熊本大学男女共同参画推進室 緒方

TEL/FAX：096-342-3281

『こばと保育園における病児保育モデル事業』の概要

1 モデル期間

平成20年9月1日から平成21年2月27日まで（6ヵ月間）

土、日、祝祭日、年末年始の休日を除く。

2 モデル利用日数の上限

園児1人当たりの病児保育の利用日数は5日を上限とする。

3 モデル病児保育時間（緊急サポートネットワーク・熊本受診代行を含む。）

午前7時から午後7時（12時間以内）

4 モデル利用料金

園児1人1日につき1,000円。

5 委託業者

NPO法人チャイルドケアサポートみるく（理事長 杉野茂人）

熊本県知事により2003年に認証を受けた病児保育を行うNPO法人。病気がかかっている子どもや、病気回復期にある子どもたちに保育士、看護師、医師などの専門家がトータルケアを提供。2004年より、熊本市病後児保育委託施設「みるく病児保育室」を開設。2005年より、厚労省「緊急サポートネットワーク事業」を受託し働く保護者が、子どもが病気の時に直面する問題の解決に取り組む。